

2025年日本国際博覧会「未来社会ショーケース事業」  
『フューチャーライフ万博・未来の都市』での展示概要について  
～スマートポール実証およびミライスコープ体験～

2024年8月28日  
関西電力送配電株式会社

当社は、2025年日本国際博覧会の「未来社会ショーケース事業」『フューチャーライフ万博・未来の都市』（以下、「未来の都市」）※<sup>1</sup>に、ブロンズパートナーとして協賛契約を締結しました。

[\(2023年8月24日にお知らせ済み\)](#)

当社は、「未来の都市」パビリオン建屋エントラス前に、未来社会の次世代型プラットフォームであるスマートポール※<sup>2</sup>を設置し、本体に搭載した各機能の実証を予定しています。

具体的には、風力およびペロブスカイト太陽電池※<sup>3</sup>による発電や、湾曲型ディスプレイによる情報掲出、AIカメラによる人流解析・迷子探査等、個々の性能を評価します。来場者の皆さまにも、AIカメラによる迷子探査のデモンストレーションを体験いただくことが可能です。

パビリオン建屋の当社展示エリアでは、スマートポールが実現する未来の街を、自分自身の分身（アバター）が探検する没入型体験コンテンツ『ミライスコープ』の展開を予定しています。自動運転等のモビリティ領域・非常時の避難誘導等の防災領域・地域の情報発信等の観光領域で、スマートポールによるソリューションを体験いただけます。

また、本日、上記の内容を紹介する特設サイトを当社ホームページ内に開設しました。今後、順次スマートポールの詳細情報や体験コンテンツについてさらに詳しくご紹介していく予定です。

当社は、スマートポールという未来社会の情報・多機能ステーションを通じて新たな価値をお届けすることで、世界中から来られるお客さまにワクワク感や楽しさを感じていただけるよう取り組んでまいります。

- ※1：サイバーフィールドとフィジカルフィールドが相互に連携し融合した展示を通じて society 5.0 が目指す経済発展と社会課題の解決を両立する人間を中心とした都市の姿を浮かび上がらせる舞台。
- ※2：通信基地局やWi-Fi、カメラ、街路灯、デジタルサイネージなどを搭載した多機能ポールの総称。特に自動運転支援や電動モビリティへの給電などモビリティ分野での活用が期待されている。
- ※3：現在広く普及しているシリコン系太陽電池よりも軽く、薄くて柔軟な太陽電池。シリコン系太陽電池にはない特性から、これまでの技術では設置の難しかった場所にも導入が可能であり、活用できる分野が多様であるため、市場の拡大も見込まれている。

【参考】

- ・公益社団法人2025年日本国際博覧会協会公式 Web サイト  
<https://www.expo2025.or.jp/>
- ・関西電力送配電 万博特設サイト  
<https://www.kansai-td.co.jp/banpaku/>

【別紙】

- ・会場およびスマートポールを活用した展示概要イメージ

以上

会場およびスマートポールを活用した展示概要イメージ

【フューチャーライフ万博・未来の都市 会場外観イメージ】



提供：2025年日本国際博覧会協会 ※画像はイメージです。

- パビリオン建屋エントランス前にスマートポールを3本設置。
- 風力発電およびペロブスカイト太陽電池による発電量の測定、湾曲型ディスプレイの視認性検証、AIカメラによる迷子探査のデモンストレーション、気象センサーによる環境測定等の実証を予定。

【当社展示イメージ】



※画像はイメージです。実際の展示とは異なる可能性があります。

- 『ミライスコープ』と題して、スマートポールが実現する未来の街を、自分自身の分身（アバター）が探検する没入型体験コンテンツの展開を予定。